002

教員特別研究（重点研究）成果報告書 | 配分研究費：1,042千円

北遠地域に伝わる祭祀芸能の総合的研究

目的・概要

北遠地域に伝承される祭祀芸能群は学術的価値においても国内外から高い関心を集めている。しかし、芸能は神事の主要部であり、そこに使用される面は御神体そのものとして扱われている。そのために従来は調査自体さえ困難とされてきた。
本研究では、すでに廃絶した祭祀をテーマとすることで、その調査・研究に取り組むことが可能となった。そうした祭祀芸能をめぐって多角的な視点と手法による総合的な調査・研究を進めてきた。

期間

令和4年4月1日～令和6年3月31日

研究担当者

文化政策学部	国際文化学科	教授	二本松 康宏（研究代表者）
文化政策学部	芸術文化学科	准教授	田中 裕二
文化政策学部	国際文化学科	教授	西田 かほる
文化政策学部	芸術文化学科	教授	奥中 康人
客員研究員			宮嶋 隆輔

スケジュール

令和4年5月12日
山室八幡神社旧蔵の面と祭具の調査（浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会、浜松市文化財課との合同調査）
令和4年7月14日～20日
特別展示「山里の祝祭ー神々と鬼たちの宴舞ー」の開催
令和5年1月5日～6日、14日～15日
浜松市立中央図書館における大福寺文書、中山家文書等の調査
令和5年1月21日
設楽原歴史資料館（愛知県新城市）における「黒沢田楽」の調査
令和5年1月27日～29日
天念寺（大分県豊後高田市）における「修正鬼会」の調査
令和5年2月11日～12日
蛭児神社（牧之原市）における「田遊び」の調査）
令和5年6月1日
神妻神社（天竜区佐久間町）における面と祭具の調査（浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会、浜松市文化財課との合同調査）
令和5年6月22日～23日
浜松市立中央図書館における文献調査
令和5年7月9日
浜松市立内山真龍資料館における横山八幡神社所蔵の面と祭具の調査
令和5年8月7日
横山八幡神社（天竜区横山町）の調査（浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会、浜松市文化財課との合同調査）
令和5年9月13日、10月6日
秋葉街道・鳳来寺道の調査
令和5年10月25日
宝珠院（天竜区横山町）における文献資料の調査
令和5年11月16日～22日
特別展示「まぼろしの祝祭ー天竜横山の神遊びー」の開催
令和5年12月11日～12日
上町正八幡宮（長野県飯田市）における「霜月祭り」の調査
令和5年12月15日～17日
静岡県立中央図書館での文献調査
令和6年1月3日～6日
大森山諏訪神社（長野県天龍村）における「冬祭り」の調査
令和6年1月7日～8日
三島大社（静岡県三島市）における「御田打ち神事」の調査
令和6年11月20日～21日
国立民族学博物館での資料調査
令和6年2月14日～16日
鵜甘神社（福井県池田町）における「水海の田楽・能舞」の調査

研究成果

令和4年度は「山里の祝祭ー神々と鬼たちの宴舞ー」をテーマとした。旧山室八幡神社（浜松市天竜区佐久間町）に伝来した祭祀芸能「花の舞」をめぐって、その仮面、祭具、伝承等について調査・研究に取り組んだ。
昭和31年（1956）、天竜川の畔にあった山室（やんぶろ）集落は佐久間ダムの完成と引き換えに湖底へと沈んだ。本研究では、残された映像資料や記録写真を手がかりとして、山室に伝えられた信仰と祭祀、それを支えた山里の暮らしについて、学術的復元を目指した。
令和5年度は「まぼろしの祝祭ー天竜横山の神遊びー」をテーマとした。横山八幡神社（浜松市天竜区横山町）にかつて伝来した「神遊び」をめぐって、その仮面、祭具、伝承等について調査・研究を進めた。
横山八幡神社の「神遊び」は明治7年（1874）に廃絶したが、本研究では残された面を手掛かりとして周辺地域に伝わる祭祀芸能を比較・参照することで、失われた祭祀芸能を学術的に復元した。また、「神遊び」の廃絶が廃仏毀釈に起因したこと、同町・宝珠院観音堂に祀られる十一面観音像がかつての横山八幡神社の本尊（本地仏）だったことが判明するなど、本研究では画期的な成果が得られた。

今後の研究成果の還元方法

これまでの成果は、田中裕二「山里の祝祭ー神々と鬼たちの演舞についての展示記録」（『遠江・山と里の民俗』19、浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会・浜松市、令和4年9月）、宮嶋隆輔「〈明〉と〈暗〉の響きー中世の音楽に聴くー」（『屋根裏通信』27、成城寺子屋講座、令和5年7月）、二本松康宏「まぼろしの祝祭ー天竜・横山の神遊びー」（『遠江・山と里の民俗』23、令和6年3月）等によって公刊した。
特別研究としての採択は終了したが、研究自体は令和6年度も継続中である。令和6年度は神妻神社（天竜区佐久間町）に伝来した「花の舞」について調査・研究を進めている。その成果は本年秋に開催する特別展において公開する予定である。